

STAR-ACS

心房細動合併急性冠症候群患者における抗凝固薬と抗血小板薬併用の出血頻度と治療実態の前向き観察研究

NEWS LETTER 第21号

謹啓

初秋の候、

ますます御健勝のこととお慶び申し上げます。

順天堂大学医学部附属順天堂医院

臨床研究・治験センター STAR-ACS 事務局

TEL:03-3814-5672 アドレス: juntencrc@juntendo.ac.jp

先生方におかれましては、本 STAR-ACS 研究の患者登録をお進め頂き、誠にありがとうございます。

目標症例数 460 件到達し、ご参加施設の先生方、関係者皆様のご協力に、事務局一同心より感謝申し上げます。

今回、北里大学病院 阿古先生のメッセージをご紹介します！

北里大学医学部 循環器内科学 教授 北里大学病院 副院長

<前列真ん中> 阿古 潤哉 先生 (あこ じゅんや)

～循環器内科の方々～



【北里大学病院：阿古先生より】



阿古 潤哉 先生

北里大学病院は相模原市にある 1033 床の特定機能病院です。三次救急も行なっているため、心肺停止の患者も多く搬送されてきますし、神奈川県唯一の VAD 植え込み施設ということもあり、重症心不全患者の紹介も多く引き受けています。TAVI, Mitraclip, S-ICD, ペースメーカーリード抜去など心臓移植以外ほぼ全ての循環器診療に対応しています。

心房細動を合併した患者が PCI を受ける際の抗血栓療法は常に変化してきています。ほんの少し前までは、抗凝固薬に DAPT を加えるといういわゆる 3 剤併用が、ある意味標準のように行われていましたが、現在、薬剤は次第に減らす方向へと動いてきました。WOEST 試験に始まり、PIONEER AF-PCI 試験、RE-DUAL PCI 試験、さらには AUGUSTUS 試験など、PCI 早期からアスピリンを抜くというエビデンスは蓄積されつつあります。また、慢性期のデータも OAC-ALONE 試験、AFIRE 試験と抗凝固療法単独へと大きく舵を切っています。

しかし、臨床試験の結果を持って日常臨床がすぐ変わるかといえば、全くそのようなことはないことは我々医療者自身がよく知っています。無作為化臨床試験はやはり限られた患者集団を対象にしており、目の前の患者にすぐに取り入れることができないこともあるのは周知の通りです。神奈川県で医療者を対象にどのような抗血栓療法レジメンを用いているかを定点観測していますが、ここでも、臨床試験の結果が出たからといって必ずしもすぐには実臨床のやり方が変わらないという現状が示されています。

さて、STAR-ACS は心房細動合併患者の ACS 患者においてどのような抗血栓療法が行われているか現状を捉えることができる非常に重要なレジストリであるといえます。心房細動患者においては、出血性合併症が大きくクローズアップされていますが、血栓性も高い病態である ACS において、どのような治療法でどのような結果が得られているのか、多くの施設での様々な臨床現場を反映できるというのは非常に興味深い結果が得られると考えられます。特に、海外と我が国では出血イベントと塞栓症イベントのバランスが異なるため、実臨床からのデータは非常に重要であり、即我が国での臨床に活かせる結果が出ることを期待されます。

北里大学医学部循環器内科学 阿古 潤哉



阿古 潤哉先生ご略歴

1991年（平成3年） 東京大学医学部医学科卒業
1991年（平成3年） 東京大学医学部附属病院 研修医
1992年（平成4年） 三井記念病院内科 循環器科
1996年（平成8年） 東京大学医学部 老年病医員
1997年（平成9年） 同 技官
2000年（平成12年） 同 助手
2001年（平成13年） スタンフォード大学 心血管コアラボ客員研究員
2006年（平成18年） 同大学 心血管コアラボ Director of Academic Affairs
2009年（平成21年） 自治医科大学附属さいたま医療センター 循環器科 教授
2013年（平成25年） 北里大学医学部 循環器内科学 教授
2018年（平成30年） 北里大学病院 副院長（危機管理・医療安全担当）

【ご協力のお願い】

ベースライン(登録時確認事項、退院時入力事項)に発行されているクエリにご回答をお願いします。

回答期限：2019年9月30日

※ベースラインデータにクエリが発行されているご施設には、メールにてご対応のお願いを送信しています。

ご協力の程、よろしくお願いいたします。

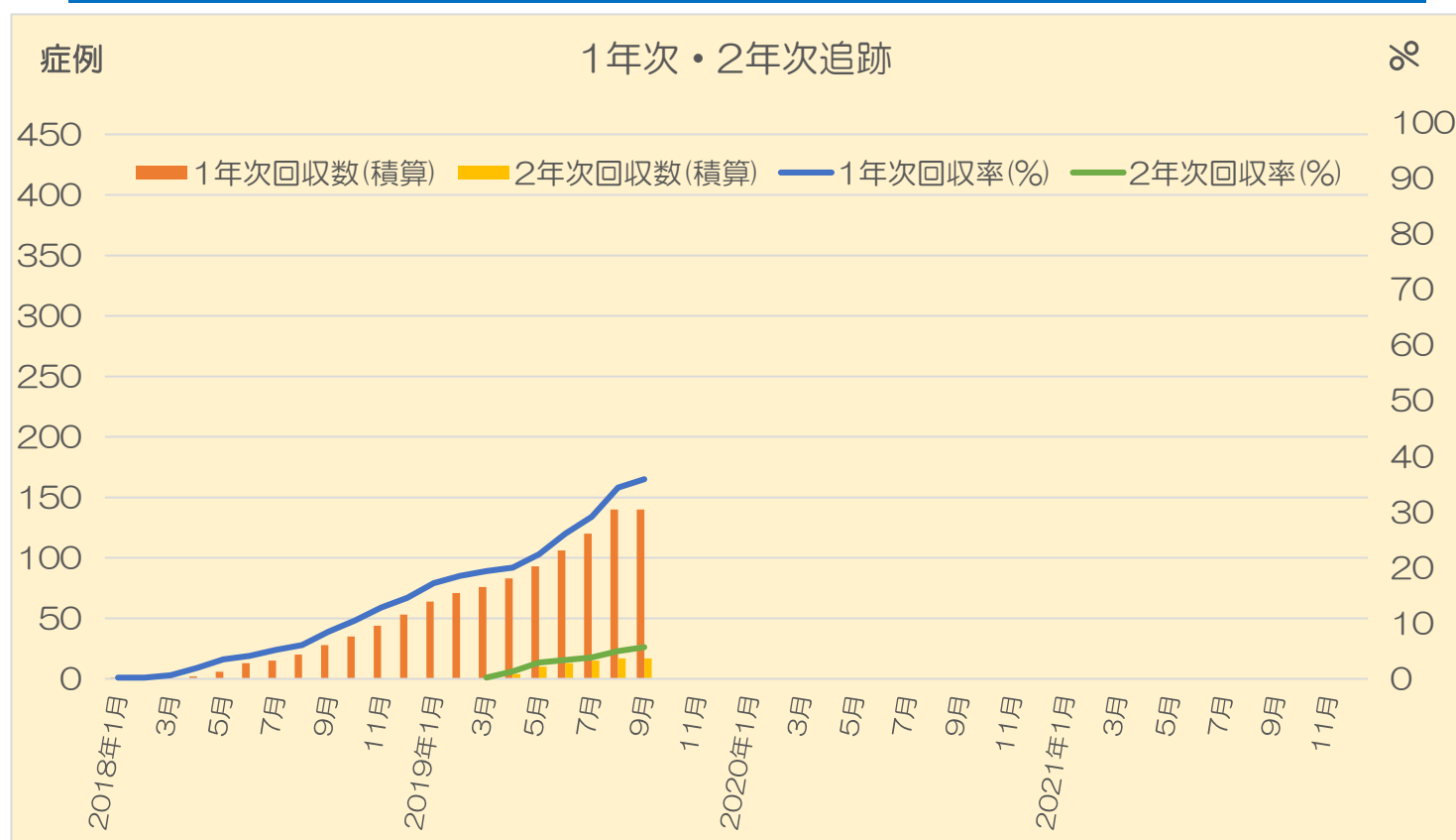


【ご参加施設フォローアップ進捗状況】

ご多忙のところ恐縮ではございますが、1年次、2年次フォローアップにつきまして、引き続きお力添えを宜しくお願い致します。

※データは平成31年9月17日現在

現在の登録症例数	1年次回収数	2年次回収数
	141	17
460	1年次回収率	2年次回収率
	36%	6%



**登録等に関してご不明な点、お困りのことがございましたら
事務局までご相談・お問い合わせください。**

【STAR-ACS 研究の HP について】

順天堂医院 臨床研究・治験センターHP 内に、STAR-ACS 研究の専用 HP を開設しております。研究の進捗状況や Q&A 等の最新情報を、HP にてご確認くださいことが可能です。情報は随時更新致します。会員専用ページにはログイン ID、パスワードが必要です。
是非とも STAR-ACS 研究の HP をご活用頂きますようお願い申し上げます。

https://www.juntendo.ac.jp/jcrtc/about/star-acs/index_star.html



【事務局からのお願い】

研究責任者、研究分担者の変更がございましたら、必ずご連絡ください。（ご氏名、フリガナ、メールアドレス）EDC 入力者登録の変更、削除も致します。

また変更の場合、貴施設での倫理委員会の審査と、契約につきましては、変更の覚書の締結が必要な場合がございます。

今後とも引き続きのご協力よろしくお願い申し上げます。

三十度を超す真夏日も少なくありませんので、ご自愛専一のほどを心よりお祈りいたします。

謹白



【連絡先<返信先>】

順天堂大学 臨床研究・治験センター内

STAR-ACS study 事務局

〒113-8421 東京都文京区本郷 2 丁目 1 番 1 号

E-mail: juntencrc@juntendo.ac.jp

TEL: 03-3814-5672(直通)

FAX: 03-3813-5018

植田 莉英子 前多 久美子

野尻 宗子 北村 咲子 林 和華子

https://www.juntendo.ac.jp/jcrtc/about/star-acs/index_star.html

